



石巻市【地域支援】



同じ被災地にありながら居住形態（自宅と仮設）や被災の度合いの違いによって“目に見えない壁”が出来てしまった地域社会。「つるしびな」を作り上げる共同作業の中で、その壁を取り払い、地域の絆の回復を目標にする地元ボランティア団体の支援が8月から始まりました。となりびとが、“つなぎびと”として協力しています。（野口）



石巻市【仮設支援】

大森仮設第4団地で二回目のベンチづくりプロジェクトを行いました。今回は女性中心のベンチづくりとなり、慣れない手つきでしたが、一生懸命取り組んでくださいました。またお盆時期には、元スタッフの西田さんが仮設のお茶会を担当して下さいました。懐かしい顔の訪れに、仮設の方も喜んでくださいました。



【夏のボランティア】



夏のボランティアの先陣を切ったのは、埼玉県にある聖望学園ハイスクールYMCAの生徒6名と引率教員2名。三泊四日、仮設でのお茶っこやベンチ作りに若い力を尽くして下さいました。

8月25日に大森仮設団地で行なわれた夏祭りでは、ルーテル学院大学の学生10名と先生が大活躍でした。事前の出店準備には、近畿福音ルーテル教会から2名、そして元スタッフ濱村さん、仙台教会の3名も参加。当日は、学生さんはシャボン玉・イモ餅・コーヒース、それぞれに貴重な体験をしていました。事前準備から片付までの協力に、地元の方も大変喜んで下さいました。



ハンドベルコンサート



続いて、熊本市にあるルーテル学院高校ハンドベル部が、鶴ヶ谷教会の主日礼拝、石巻市の仮設大森第三団地集会所でハンドベルを披露して下さいました。被災地に美しい音色が響きました。



夜行バスで往復と言う、まさに若さの特権を生かして“となりびと”にやってきたのは市ヶ谷教会青年会の皆さん。その日から始まった仮設飯野川校団地集会所での「吊るし雛プロジェクト」に自然体で加わっていました。



気仙沼市【コミュニティセンター再建プロジェクト】



津波で流失したコミュニティセンターの再建支援の工事がいよいよ始まります。建設予定地の購入が完了し、埋蔵文化財の調査等も無事終え、これから造成工事に入ります。前浜地区住民による建設ワークショップも始まりました。連日暑い中、地域の人たちが屋根となるパネル作りに汗を流しています。文字通りのみんなで作る、みんなのコミュニティセンターです。ぜひ一緒に作業をしに来て下さい。（佐藤）



東日本大震災ルーテル教会救援 2012年 8月活動概要

- | | |
|-----------------|-----------------------------------|
| 1. 活動地域 | 宮城県(気仙沼市、石巻市、東松島市、登米市) 福島県(南相馬市) |
| 2. ボランティア受け入れ | 8月 30名(教会 6名/一般 2名/学生 22名) |
| 3. 物資支援の実績 | 8月 総数 2件 ([内訳] パイナップル缶、Tシャツ) |
| 4. 仮設支援の実績 | お茶会 8月 5回開催 (のべ 90名 参加) |
| 5. 被災地関連商品の販売実績 | 8月 25,000円 (教会バザー 1件/となりびと訪問者 1件) |

